令和４年度
学校だより
ＮＯ．９
Ｒ５．１．２４

中道南小だより 南っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立
中道南小学校
（児童数６８名）
編集：校長 小林 和仁

あけましておめでとうございます

２０２３年を迎え、３学期の学校生活も３週目に入りました。１年の中で最も寒いといわれる「大寒」を迎えましたが、厳しい朝の寒さの中でも元気に登校する子どもたちの姿を見てたいへんうれしく思います。お子さんの体調管理をはじめ、新型コロナやインフルエンザなど、感染症対策にも留意していただきありがとうございます。短い３学期ですが、学びが止まることなく今年度のゴールを迎えられるよう引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、始業式には、「言葉」の話をしました。２学期の始業式には、大リーグで活躍する大谷翔平選手の話題から「凡事徹底」について話をしました。南小では、この凡事徹底の他にも、「大切にしたい４つの言葉」があり、前から目標にされてきました。１つ目は**「ありがとう」**です。この言葉は、「感謝の言葉」ですが、人から親切にされた時にはしっかりとこの言葉が伝えられるように。２つ目は**「すみません」**です。この言葉は、「こんなことをしてしまってすみません」「すみません、ありがとうございました」「すみません、かぎを貸してください」など、あやまる時、感謝する時、人に頼む時などに伝える言葉ですが、「ごめんなさい」と同じで相手によく思わないことをしてしまったり、相手に対してひかえめに感謝したりお願いしたりする時は、素直な気持ちになって伝えられるように。３つ目は**「おめでとう」**です。この言葉は、人が何か素晴らしいことをしたときに伝える「祝福（お祝い）の言葉」です。そんな時には、この言葉を伝えながら、一緒に喜んであげられるように。４つ目は**「おかげさまで」**です。この言葉も「感謝の言葉」ですが、この言葉の中には、自分が今日幸せに暮らしているのは、今まで出会った多くの人との縁やつながってきた先祖、または自然の恵みといった目には見えない、自分以外のあらゆるものに感謝する気持ちが込められています。小学生のみなさんが、声に出して伝えることは少ないかもしれませんが、そんな気持ちをもって生活できるようになってほしい。また、言葉というのは相手の事を思って伝えるものなので、人と人の心を結ぶコミュニケーション（心や気持ちの通い合い）になります。この言葉を伝えるのは仲のいい人だけではなく、みなさん一人一人に関わる全ての人、そしてものに対して伝えられるようになるといいですね、と伝えました。　最後に、今年はうさぎ年です。うさぎはぴょんぴょんと跳ねるので、「飛躍の年（勢いよく動いて活躍する年）」、６年生は卒業して中学生になる年、１年生は４月から学校のお兄さんやお姉さんになる年、２～５年生は、１つ上の学年に進級する年です。68人一人一人が、大きく成長し、飛躍できる２０２３年になることを願っています、と話しました。大切にしたい４つの言葉、新年の目標など、ご家庭でも、家族みんなで話題にしていただければ幸いです。

一筆（字）入魂！ 教育祭校内書き初め大会

１月11日に校内書き初め大会を行いました。書き初めには、一年の目標や抱負を決めるという意味があり、学校教育の中でも大切にされ、長く行われてきた行事です。どの子どもも、担任の先生から指導されてきたことをもとに冬休みにたくさん練習してきた成果を生かそうと、真剣に、集中して取り組んでいました。一人一人がしっかりと新年の目標に向かって進んでほしいと思います。

３学期・そして来年度に向けて児童会が始動しました

児童会役員選挙

令和５年度に向けての児童会の役員選挙・立ち会い演説会が１月23日に行われました。この役員選挙は、２学期の12月から、多くの選挙管理委員会を経て準備されてきました。立候補者も、コロナ感染症対策をとりながらではありましたが、それぞれが公約を伝えて投票のお願いをするなど、しっかり選挙運動をしてきました。立候補者はもちろん、立候補者の責任者を務めた友達、各学年を代表して役員選挙をつくってくれた選挙管理委員のみなさん、そして応援をしてくれた学級や全校のみなさんによる素晴らしい活動となりました。この選挙により会長１名、副会長２名（５年と４年）が選出され、後日当選証書が渡されます。

会長候補　（５年）：市中心晴：公約：自分から進んで行動できる学校
副会長候補（５年）：長塚美天：公約：みんなにもっと好きになってもらう学校
副会長候補（４年）：飯塚凪咲：公約：あいさつや返事がしっかりできる学校
石原奈織：公約：人にやさしく思いやりのある学校

選挙管理委員

３学期の代表委員決定

３学期の代表委員が決まり、１月18日には代表委員会が行われました。感染予防対策のため、各学年２名ずつの出席でしたが、どの学年も各学級で出された意見をしっかりと発表していました。３学期は短い学期ですが、１年のまとめと新年度へつながる大切な学期です。代表委員それぞれのリーダーシップを発揮して、充実した３学期にしてほしいと思います。

３学期の代表委員

３年	市川龍介・河村美結・渡辺馨
４年	池谷来輝・長田晃汰・渡辺苺花
５年	池谷龍我・河野優樹
６年	小林和包・福嶋晴太・宮久保樹斗

１月　代表委員会

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置に向けて

甲府市立小中学校では、「地域に開かれた学校づくり」に向け、学校評議員制度がその中心的な役割を果たしてきましたが、評議員は校長の求めに応じて意見を述べるに留まっていました。令和５年度からは、子どもや地域の未来に向けて、保護者、地域、学校が一体になり当事者意識をもって取り組めるよう、これまでの学校評議員制度等、既存の仕組みをもとに学校運営協議会を設置することになりました。

期待できる効果として、**①学校の現状や運営方針について地域の理解が深まり、地域からの支援が得られることで、より充実した教育活動が実践できる。②子どもたちの学びや体験活動が充実する。③保護者にとっては、地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が生まれる。④地域の人々にとっては、学校を中心とした連携ができ、地域の課題解決につながる、**が挙げられます。

令和４年度は、「学校運営協議会設置推進委員会」を立ち上げ、７月には第１回委員会として委員の委嘱、概要の説明、組織等について協議してきました。第２回委員会は２月17日（金）に行い、学校評価について、学校運営協議会の組織について、協議会の今後の活動についてなど、令和５年度の設置に向けての協議をする予定です。当日は、１～５年生の授業参観・学年総会が予定されており、５校時帯の授業参観については学校の様子を見ていただけるよう委員の方の参観を可能といたしました。感染症予防対策としての変更があるかもしれませんが、保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

第１回設置推進委員会

学校だよりは、南小ＨＰにカラー版でアップしております。　ぜひご覧ください
中道南小　検索　もしくは QRコードで